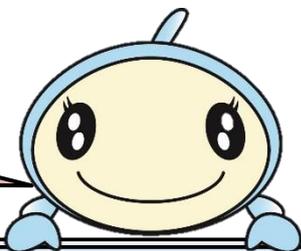


第3号  
R4. 5月



「3つの合言葉」元気・学び・会話



【発行・編集】  
滑川町教育委員会  
TEL0493-56-6907

## 町の子供は町で育てる 滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」

コロナ禍だからこそ、「居場所づくり」、「絆づくり」を  
キーワードは『つながり』

第3期滑川町教育振興基本計画に基づく活動が、コロナ禍により思うように進まない状況が一部あります。しかし、このような状況（コロナ禍）だからこそ、改めて足元を見直すことができます。

国立競技場を設計した隈研吾氏は、木にこだわった建築物を数多く設計しています。隈氏は、「細くて短い小径木を使うための技術が木組みで、細い木が支え合い柱の役割を果たす。細い木を使って強い建築を作る。」と述べています。この言葉を聞いて、人間社会の理想を物語っているように感じました。

立派な木だけを選別するのではなく、細くて短い小径木を生かす工夫をすることの大切さ、それを組み合わせ、より強い柱を作ることこそが、コロナ禍で私たちがやること、これからの社会のためにやることのように感じました。

そこで、町民の皆さんと力を合わせて、以下のような取り組みをしていきたいと思えます。

### 居場所づくり・絆づくり:キーワード「つながり」



「正直」「純朴」だけでは社会を生き抜くのは困難。競争力、社会性、世界観を広げ、子供たちをグローバル社会に、はばたかせる。

滑川町大好きっ子

町の子供は町で育てる

学んでよかったまち

### 学ぶ場の充実

共に学び共に育つ  
「学びの共同体」

社会に開かれた教育課程

人が育つ

異なる価値観に触れ、自分自身に気づき、意見の異なる者同士が議論をし、新たな価値に目覚めていくことを大切にする。

子供が活動するたびに、「異質」に触れる授業や教育活動を大切に。

学校

地域

学びの場

「私はこう思う」という「我」を持ち、議論させ、新たな価値に気付く。この繰り返しの授業や活動。

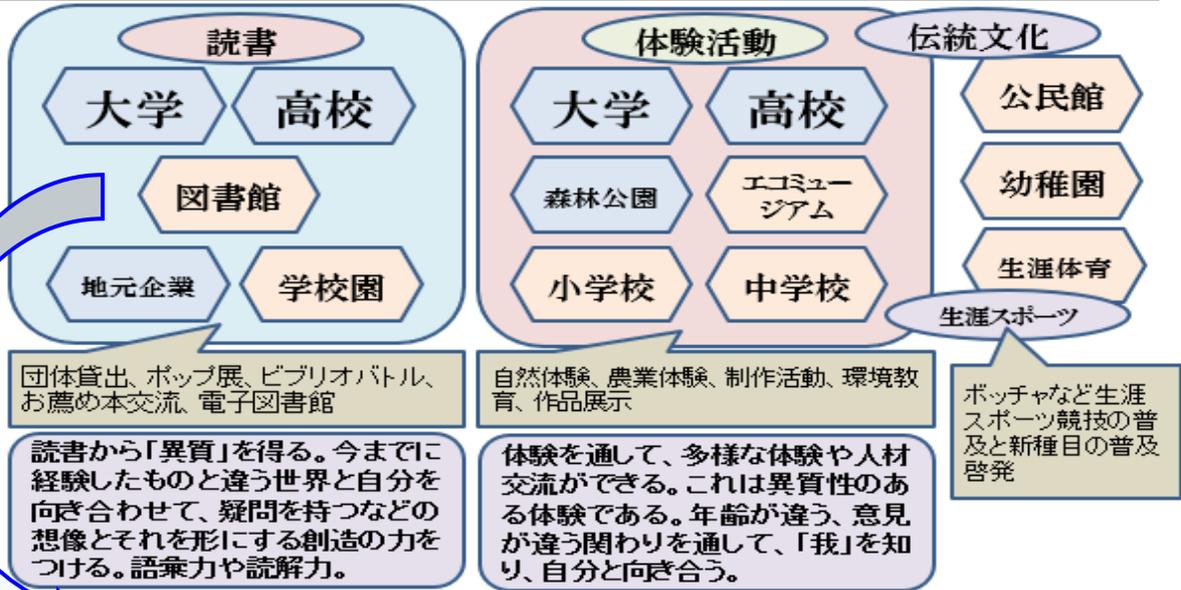
滑川町での活動に、どれだけ参加し、異質に触れられるかを考え、事業を推進。

放課後子供教室、図書館、土曜学校を開設し、多様な学びの場を作る。

子供が将来どんな道にも進める可能性と素地を育てるのが大人の責務。誰かに出身地を聞かれたら、胸を張って「滑川町」と言える子供を育てたい。

みんなで作ろう「居場所」「絆」、キーワードは「つながり」

「正直」「純朴」だけでは社会を生き抜くのは困難。競争力、社会性、世界観を広げ、子供たちをグローバル社会に、はばたかせましょう。



「おはなし会」に御参加ください

図書館では毎月3回、ボランティア団体の方々に御協力をいただき、楽しい「おはなし会」を行っています。「おはなし会」はお子様为本に親しむ第一歩としてとてもよい機会です。5月は11日(水)、14日(土)、18日(水)の11:00から開催します。事前にお申し込みの上、御参加ください。

○申し込み:図書館にお電話ください。56-3433

\*御来館の折はお声がけください。



蔵書点検のための休館日のお知らせ

5月24日(火)~5月29日(日)の期間は図書館内蔵書点検のため休館とさせていただきます。総蔵書約11万冊の総点検や館内書庫の整理など、年1回の図書館のリフレッシュです。御理解のほど、よろしく願いたします。



祝 150周年 福田小学校

明治6年12月福田村大字福田475番地光栄寺本堂を仮校舎として福田学校が開校されました。それから本年度で150年、めでたく記念式典が5月10日に行われます。令和4年度の福田小学校の学校像は、「志を立て、失敗を恐れず挑戦する気概を育む学校~師弟敬愛の楽園~」で、現在の上野修校長が目指しているものです。この「師弟敬愛の楽園」は、校庭西側にある神山熊蔵先生彰徳之碑文からいただいたものだそうです。碑文には、「円熟した人格と透徹した信念で至誠一貫温かく教え子を包容して慈訓を垂れ徳風は四周に及んだ」と刻まれています。その思いを受け、上野校長も「先生も児童も共に互いを敬い教育愛あふれる楽しい学園」そんな素敵な福田小からよりよい未来の担い手を輩出したいと述べています。

(福田小学校学校だより『ふくだ』(令和3年4月27日発行)より一部引用)

「真の郷土の振興は先人の遺風、業績を新たに掘り起こすことから始まる。過去を継承せずして健全な未来の創造はありえない。」という元埼玉県教育委員長で嵐山町出身の関根茂章氏の言葉が思い浮かびます。150年の思いを含め学校を愛していただいています。